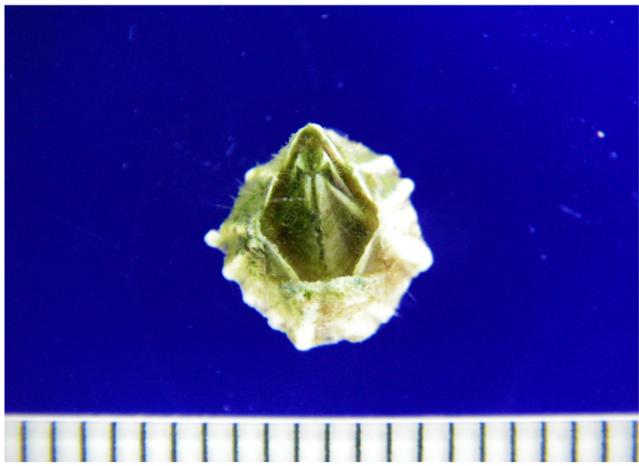


# 甲殻類

No

1

\* 外来種の記載があります

	生物名	シロスジフジツボ
	分類	節足動物門顎脚綱 無柄目フジツボ科
	発見頻度	★★☆☆☆
	職員のコメント	殻の表面に隆起した白いあばらがあるのが特徴です。
	備考	

No

2

	生物名	タテジマフジツボ
	分類	節足動物門顎脚綱 無柄目フジツボ科
	発見頻度	★★★★☆
	職員のコメント	名前のお通り、外殻の表面に紫色がかつた縦縞模様を持つフジツボです。
	備考	外来種

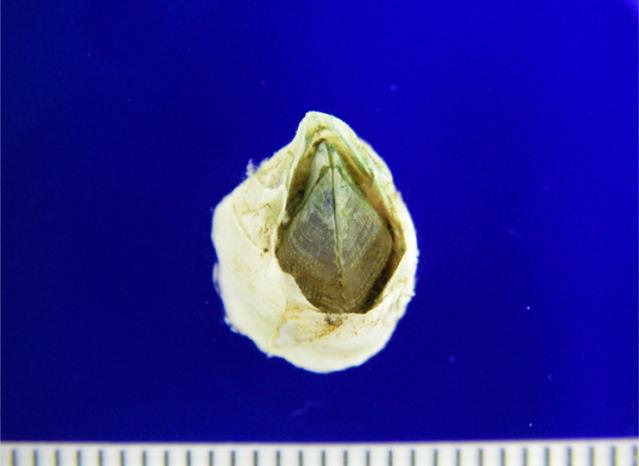
No

3

	生物名	サンカクフジツボ
	分類	節足動物門顎脚綱 無柄目フジツボ科
	発見頻度	★★☆☆☆
	職員のコメント	殻口が三角形のフジツボです。
	備考	

No

4

	生物名	アメリカフジツボ
	分類	節足動物門顎脚綱 無柄目フジツボ科
	発見頻度	★★★★★
	職員のコメント	低塩分に耐える内湾性のフジツボです。船底にくっついて日本に運ばれてきました。
	備考	外来種

No

5

	生物名	ヨーロッパフジツボ
	分類	節足動物門顎脚綱 無柄目フジツボ科
	発見頻度	★★★★☆
	職員のコメント	アメリカフジツボとよく似たフジツボですが、フタの色が白いことで見分けられます。
	備考	外来種

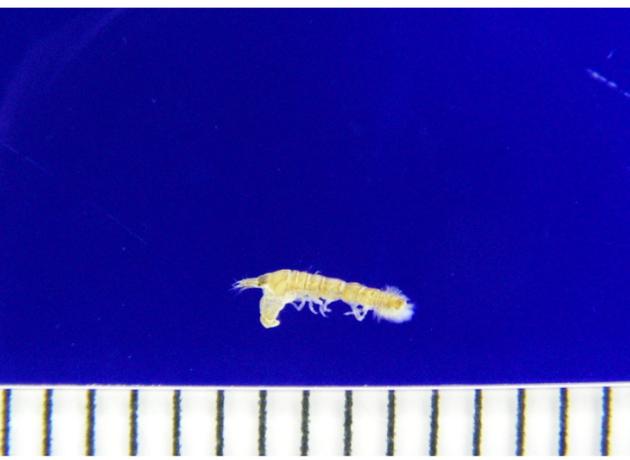
No

6

	生物名	ゼウクソ属
	分類	節足動物門軟甲綱 タナイス目タナイス科
	発見頻度	★★★★☆
	職員のコメント	非常に小さいので、肉眼ではなかなか見つけることができないと思います。
	備考	

No

7

	生物名	キスイタナイス
	分類	節足動物門軟甲綱 タナイス目タナイス科
	発見頻度	★★★★☆
	職員のコメント	非常に小さい生物です。低塩分のところで見つかります。
	備考	

No

8

	生物名	イソコツブムシ属
	分類	節足動物門軟甲綱 等脚目コツブムシ科
	発見頻度	★★★★☆
	職員のコメント	体長5-8mmほどの非常に小さい甲殻類です。
	備考	

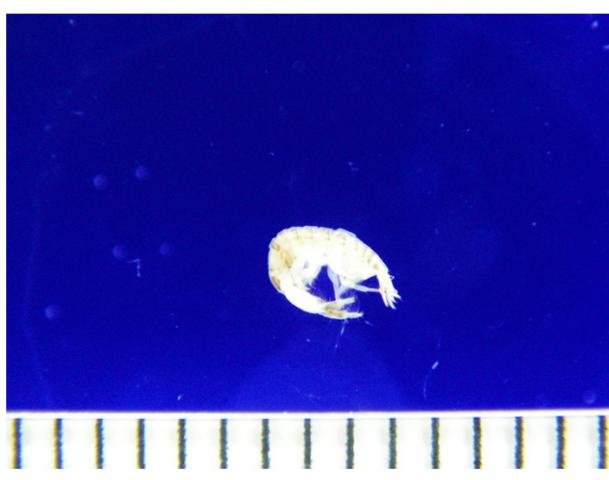
No 9

	生物名	シリケンウミセミ
	分類	節足動物門軟甲綱 等脚目コツブムシ科
	発見頻度	★☆☆☆☆
	職員のコメント	名前のとおり、尾に剣のような突起を持ちます。
	備考	

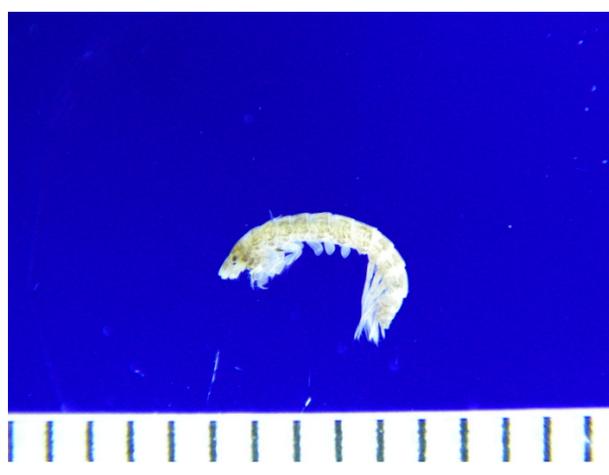
No 10

	生物名	ヒゲナガヨコエビ属
	分類	節足動物門軟甲綱 端脚目ヒゲナガヨコエビ科
	発見頻度	★★★★☆
	職員のコメント	砂をふるいにかけて見かけることがあります。
	備考	

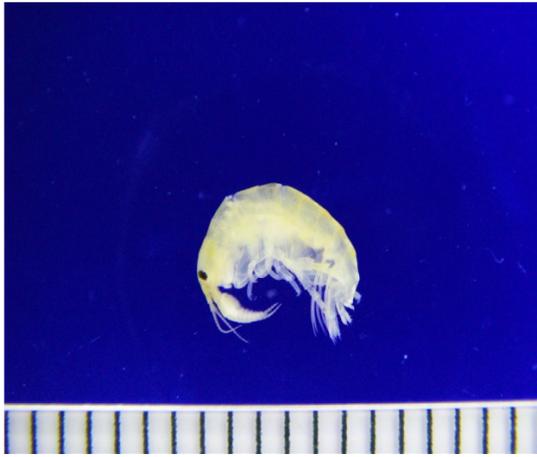
No 11

	生物名	ドロクダムシ属
	分類	節足動物門軟甲綱 端脚目ドロクダムシ科
	発見頻度	☆☆☆☆☆
	職員のコメント	ヨコエビの仲間で、やや背腹に扁平な細い体をしています。棲管を作ってその中にすんでいます。
	備考	

No 12

	生物名	ニッポンドロソコエビ
	分類	節足動物門軟甲綱 端脚目ユンボソコエビ科
	発見頻度	★★★★☆
	職員のコメント	やや背腹に扁平な細い体をしています。雄の第1脚が大きいのが特徴です。汽水にすみます。
	備考	

No 13

	生物名	フサゲモクズ
	分類	節足動物門軟甲綱 端脚目モクズヨコエビ科
	発見頻度	★★★★☆
	職員のコメント	海藻の根もとや石の下、割れ目に住んでいます。第2触角に毛が密生しています。
	備考	

No 14

	生物名	シワオウギガニ
	分類	節足動物門軟甲綱 十脚目オウギガニ科
	発見頻度	★★★★☆
	職員のコメント	甲がでこぼこしていて、つかまえるとじっと動かなくなることがあります。カキ床や石の下などでよく見られます。
	備考	

No 15

	生物名	ケフサイソガニ
	分類	節足動物門軟甲綱 十脚目モクズガニ科
	発見頻度	★★★★☆
	職員のコメント	雄はハサミに毛があります。白いおなかに黒い点が特徴です。
	備考	

No 16

	生物名	マメコブシガニ
	分類	節足動物門軟甲綱 十脚目コブシガニ科
	発見頻度	★★★★★
	職員のコメント	甲が丸く、中央が盛り上がっています。縦歩きをします。
	備考	

No 17

	生物名	ユビナガホンヤドカリ
	分類	節足動物門軟甲綱 十脚目ホンヤドカリ科
	発見頻度	★★★★★
	職員のコメント	干潟2段目の板付近でよく見かけます。 糸のような触角、大きい右のハサミが特徴です。
	備考	

No 18

	生物名	イシガニ
	分類	節足動物門軟甲綱 十脚目ガザミ科
	発見頻度	★★☆☆☆
	職員のコメント	挟む力が強くハサミが鋭いので危ないです。
	備考	

No 19

	生物名	ニホンスナモグリ
	分類	節足動物門軟甲綱 十脚目スナモグリ科
	発見頻度	★★☆☆☆
	職員のコメント	エビのように見えますがヤドカリの仲間です。透き通っていてきれいです。火山口のような巣穴を作ります。
	備考	

No 20

	生物名	テッポウエビ
	分類	節足動物門軟甲綱 十脚目テッポウエビ科
	発見頻度	★★☆☆☆
	職員のコメント	左右で形がちがうハサミのうち、大きい方のハサミでパチン、パチンと音をたてます。
	備考	

No 21

	生物名	スジエビモドキ
	分類	節足動物門軟甲綱 十脚目テナガエビ科
	発見頻度	★★★★☆
	職員のコメント	スジエビに似たエビです。
	備考	

No 22

	生物名	ベンケイガニ
	分類	節足動物門軟甲綱 十脚目ベンケイガニ科
	発見頻度	★★★★☆
	職員のコメント	全身が赤く甲の四角いガニで、干潟2段目によく見かけます。
	備考	

No 23

	生物名	ウシエビ
	分類	節足動物門軟甲綱 十脚目クルマエビ科
	発見頻度	★★☆☆☆
	職員のコメント	別名ブラックタイガーです。
	備考	

No 24

	生物名	ガザミ
	分類	節足動物門軟甲綱 十脚目ガザミ科
	発見頻度	★★☆☆☆
	職員のコメント	大型のワタリガニです。成長すると深いところで生活するようになるので、干潟にいるのは小さな個体です。
	備考	

No 25

	生物名	コメツキガニ
	分類	節足動物門軟甲綱 十脚目コメツキガニ科
	発見頻度	★★★★☆
	職員のコメント	巣穴の周りには泥団子がよくみられます。これは食事をとって残った砂です。
	備考	

No 26

	生物名	チチュウカイミドリガニ
	分類	節足動物門軟甲綱 十脚目ガザミ科
	発見頻度	★★★★☆
	職員のコメント	甲が緑色をしています。ガザミ科のカニは最後の足がオール状になっているのが特徴ですが、このカニにはありません。
	備考	外来種

No 27

	生物名	イッカククモガニ
	分類	節足動物門軟甲綱 十脚目イッカククモガニ科
	発見頻度	★★☆☆☆
	職員のコメント	角が一本あるクモみたいな形をしたカニです。
	備考	外来種

No 28

	生物名	台湾ガザミ
	分類	節足動物門軟甲綱 十脚目ガザミ科
	発見頻度	★★★★☆
	職員のコメント	名前に「台湾」とありますが、台湾に限らず暖かい熱帯域で生活するカニです。
	備考	

No 29

	生物名	コブヨコバサミ
	分類	節足動物門軟甲綱 十脚目ヤドカリ科
	発見頻度	★☆☆☆☆
	職員のコメント	砂や泥のたまった海底にすんでいます。 ハサミは左右同じ大きさです。
	備考	

No 30

	生物名	ハクライオウギガニ
	分類	節足動物門軟甲綱 十脚目オウギガニ科
	発見頻度	★☆☆☆☆
	職員のコメント	もともとはタヒチやハワイ、ニュージーランドに生息する小さなカニです。
	備考	外来種

No 31

	生物名	スナガニ
	分類	節足動物門軟甲綱 十脚目スナガニ科
	発見頻度	★★☆☆☆
	職員のコメント	潮彩の渚の手前左側で潮が引くと巣穴と共に見られます。近づくとすぐに巣穴にもぐってしまいます。
	備考	

No 32

	生物名	ケアシホンヤドカリ
	分類	節足動物門軟甲綱 十脚目ホンヤドカリ科
	発見頻度	★☆☆☆☆
	職員のコメント	敷地内実験場で発見されました。第一触角、第二触覚は赤くよく目立ちます。
	備考	